

CF - 27 取扱説明書
CF - 37

ご使用前にこの取扱説明書を
必ずお読み下さい。

株式会社 トーキン




安全について

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。

- この機器の据付け・保守点検・修理は安全を確保するため、溶接機をよく理解し訓練された人または有資格者が行ってください。
- この機器の操作は、安全を確保するため、この取扱説明書の内容をよく理解し安全な取扱いができる知識と技能がある人が行ってください。
- 安全教育については、溶接学会・溶接協会および関連の学会・協会の本部や支部主催の各種講習会、溶接技術者・溶接技術士の資格試験などをご活用ください。
- お読みになったあとは、関係者がいつでも見られる場所に大切に保管していただき、必要に応じて再度お読みください。
- 不明な点は弊社または営業所にお問い合わせください。サービスに関するお問い合わせは、お買上げの販売店または弊社へご連絡ください。お問い合わせ先の住所、電話番号等は裏表紙に記載してあります。

1. 安全上のご注意

- 機器の取扱いを誤った場合、いろいろなレベルの危害や損害の発生が想定されます。この「安全について」の記述では、そのレベルをつぎの3つのランクに分類し、注意喚起シンボルとシグナル用語で警告表示しております。

注意喚起シンボル	シグナル用語	用語の定義
	危険	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を受ける危険が切迫して生じることが想定される場合。
	警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注意	取扱いを誤った場合、傷害を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- ・上に述べる重傷とは失明、けが、やけど(高温・中温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをいう。また、傷害とは治療に入院や長期の通院を要しないけが、やけど、感電などをいい、物的損害とは、財産の破損および機器の損傷に係わる拡大損害をいう。

2. 安全に関して守っていただきたい事項



警告

重大な人身事故を避けるために、必ずつぎのことをお守りください。

- この集塵機とヒュームコレクタートーチは安全性に十分考慮して設計・製作されておりますが、ご使用にあたってはこの「安全について」の警告や注意事項を必ず守ってください。これらを守らずに使用しますと死亡または重傷などの重大な人身事故を引き起こす場合があります。
- 溶接機や溶接作業場所の周囲には、不用意に人が立ち入らないようにしてください。
- 溶接機は通電中周囲に磁場を発生します。この磁場はある種のセンサや時計などの動作に悪影響を及ぼします。同じ理由で心臓のペースメーカーを使用している人は、医師の許可があるまで操作中の溶接機や溶接作業場所の周囲に近づかないでください。
- この集塵機とヒュームコレクタートーチおよびワイヤ送給装置・溶接電源の据付け・保守点検・修理は、安全を確保するため、溶接機をよく理解した人または有資格者が行ってください。
- この集塵機とヒュームコレクタートーチを使用する溶接作業は、安全を確保するため、この取扱説明書および組み合わせるワイヤ送給装置・溶接電源の取扱説明書をよく理解し、安全な取扱いができる知識と技能のある人が行ってください。
- この集塵機とヒュームコレクタートーチを取扱説明書または組み合わせるワイヤ送給装置・溶接電源の取扱説明書に記載されたアーク溶接以外の用途に使用しないでください。



警告


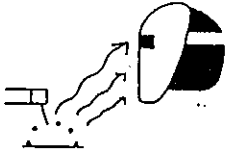
感電を避けるために、必ずつぎのことをお守りください。


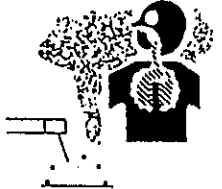




*帯電部に触れると、致命的な電撃ややけどを負うことがあります。



溶接機の出力が出ている状態では、溶接ワイヤおよびチップやチップボディは帯電しています。



- 溶接機の出力が出ている状態では、溶接ワイヤやチップなど帯電部には絶対に触れないでください。
- 溶接電源のケースおよび母材または母材と電気的に接続された治具などは、電気工事士の有資格者が法規(電気設備技術基準)で定められた接地工事を実施してください。
- 据付けや保守点検は、必ず配電箱の開閉器によりすべての入力側電源を切ってから行ってください。
- 保守点検は定期的に行い、損傷した部分は修理または交換してから使用してください。
- ケーブルは容量不足のものや損傷したり導体がむきだしになったものを使用しないでください。
- ケーブルの接続部は確実に締めつけ、絶縁してください。
- 母材側溶接ケーブルは、できるだけ溶接する母材の近くにしっかりと接続してください。
- 破れたり濡れた手袋を使用しないでください。
- 高所で作業するときは命綱を使用してください。
- 使用していないときはすべての装置の電源スイッチおよび入力側電源を切ってください。

 注意	<p>溶接で発生するアーク光、飛散するスパッタやスラグ、騒音から、あなたや他の人々を守るために保護具などを使用してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> * アーク光は有害な紫外線や赤外線を含み、目の炎症や火傷の原因になります。 * 飛散するスパッタやスラグは目を痛めたり、やけどの原因になります。 * 騒音は聴覚に異常をきたすことがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 溶接作業や溶接の監視を行う場合には、十分なしゃ光度を有するしゃ光保護具（眼鏡）または溶接用保護面を使用してください。 ● スパッタやスラグから目を保護するため、保護めがねを使用してください。 ● 溶接作業場所の周囲に保護幕を設置し、アーク光が他の人の目に入らないようにしてください。 ● 溶接用かわ製保護手袋、長袖の服、脚カバー、皮前かけなどの保護具を使用してください。 ● 騒音レベルが高い場合には、防音保護具を使用してください。 	

 注意	<p>溶接で発生するヒュームやガスから、あなたや他の人を守るため保護具などを使用してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> * 溶接を行うとヒュームやガスが発生します。これらのヒュームやガスを吸引すると健康を害する原因になります。 * 狭い場所での溶接作業は空気の不足を生じ、窒息する危険性があります。
<ul style="list-style-type: none"> ● ガス中毒や窒息防止のため、法規（労働安全衛生法、粉じん障害防止規則）で定められた局所排気設備または全体排気設備を使用するか、または有効な呼吸用保護具を使用してください。 ● 狭い場所での溶接では必ず十分な換気をするか、呼吸用保護具を着用するとともに、訓練された監視員に監視させてください。 ● 脱脂・洗浄・噴霧作業の近くで溶接作業を行うと、有害なガスが発生することがあります。これらの作業の近くでは溶接作業をしないでください。 ● 亜鉛メッキなどの被覆鋼板を溶接すると、有害なヒュームが発生します。被覆剤を除去してから溶接するか呼吸用保護具を着用して作業してください。 	

 注意	<p>ノズルやチップによるやけどや、鋭利なワイヤ先端によるけがを防ぐため、必ずつぎのことをお守りください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> * 溶接直後のノズルやチップは高温になっているため、不用意に触るとやけどすることがあります。 * ワイヤインテング時に溶接トーチの先端に顔を近づけると、ワイヤが顔や目にささり、けがをすることがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 溶接終了直後は、ノズルやチップを不用意に触らないでください。 ● ワイヤインテング時に溶接トーチの先端に顔を近づけないでください。 	

 注意	火災や爆発、破裂を防ぐため、必ずつぎのことをお守りください。
	<ul style="list-style-type: none"> * スパッタや溶接直後の熱い母材は火災の原因となります。 * ケーブルの不完全な接続部や、鉄骨などの母材側電流経路に不完全な接触部があると、通電による発熱によって火災を引き起こすことがあります。 * ガソリンなどの可燃物用の容器にアークを発生させると、爆発することがあります。 * 密封されたタンクやパイプなどを溶接すると破裂することがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 飛散するスパッタが可燃物に当たるような場所では溶接しないでください。 ● 可燃性ガスが近くにあるところでは、溶接しないでください。 ● 溶接直後の熱い母材を可燃物に近づけないでください。 ● 天井・床・壁などの溶接では隠れた側で発火することがあるので、隠れた側の可燃物を取り除いてください。 ● ケーブルの接続部は確実に締めつけ、また母材側溶接ケーブルはできるだけ溶接する母材の近くに確実に接続してください。 ● 内部にガスが入ったガス管を溶接しないでください。 ● 密閉されたタンクやパイプを溶接しないでください。 ● 溶接作業場の近くに消火器を配し、万一の場合に備えてください。 	

 注意	集塵機のフィルター火災や、粉塵爆発を防ぐため、必ずつぎのことをお守りください。
	<ul style="list-style-type: none"> * 燃焼中のスパッタが集塵機内に侵入すると、フィルター火災を生じる危険性があります。 * アルミニウムなどの爆発可燃性の粉塵を吸引すると、粉塵爆発を引き起こす恐れがあり、非常に危険です。
<ul style="list-style-type: none"> ● 吸引部分と集塵機を継ぐダクトの途中に、必ずスパッタトラップを設置してください。 ● スパッタトラップには、燃焼中のスパッタを止めるためのフィルターを、必ずセットしてください。フィルターの入っていない状態では、絶対に使用しないでください。 ● アルミニウム、チタン等の爆発可燃性の金属粉、エポキシ樹脂、コーンスターチ、炭塵等の集塵には、絶対に使用しないでください。 ● 集塵機内に粉塵が堆積しないように、定期的に清掃を行ってください。また、ダクト内などの吸引経路も、定期的に清掃してください。 	

<h2>関連法規・資格など</h2>	
<p>1. 据付け</p> <ul style="list-style-type: none"> * 接地工事：電気工事士の有資格者 * 電気設備技術基準 <ul style="list-style-type: none"> 第18条 接地工事の種類 第41条 地絡遮断装置等の施設 * 労働安全衛生規則 <ul style="list-style-type: none"> 第325条 強烈な光線を発散する場所 第333条 漏電による感電の防止 第593条 呼吸用保護具等 * 粉じん障害防止規則 <ul style="list-style-type: none"> 第1条 事業者の責務 第2条 定義等（別表第1の20） 	<p>2. 操作</p> <ul style="list-style-type: none"> * 労働安全衛生規則に基づいた教育の受講者 * JIS/WESの有資格者 * 労働安全衛生規則 第36条第3号 (安全衛生特別教育規定第4条) <p>3. 保護具等のJIS規格</p> <ul style="list-style-type: none"> JIS T 8113 溶接用かわ製保護手袋 JIS T 8141 シャ光保護具 JIS T 8142 溶接用保護面 JIS T 8151 防じんマスク JIS T 8160 微粒子状物質用防じんマスク JIS T 8161 防音保護具

このたびは溶接ヒュームコレクター用トーチCF-27, CF-37をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用の際には、ぜひこの取扱説明書をお読みいただき正しい使用方法のもとにご愛用頂きますようお願い申し上げます。

1) 定格仕様

形 式	CF-37	CF-27
定格電流	350 [A]	200 [A]
適用ワイヤ	0.9~1.2 [mm φ]	0.8~1.2 [mm φ]
ケーブル長さ	3・4・5・6 [m]	3 [m]
使用率	50 [%]	50 [%]
冷却方式	空 冷	空 冷
作業重量	1.4 [Kg]	1.3 [Kg]
全体重量(3m時)	3.8 [Kg]	3.7 [kg]

2) CF-27, CF-37の特長

- ・従来の溶接ヒュームコレクター用トーチよりも、グリップに伝わる温度が低い。
- ・トーチ先端の吸引パイプをワンタッチで脱着することができる。
- ・グリップには、衝撃に強く耐摩耗性にも優れている材質の物を使用しています。
- ・従来の溶接ヒュームコレクター用トーチよりも軽く、ワークへの干渉も少ない。
- ・バイパス式なので組立が非常に簡単である。
- ・メンテナンスが楽である。
- ・ダクトの耐熱性が高い。(CF-37)
- ・吸引部は、同軸タイプに簡単に変えられます。

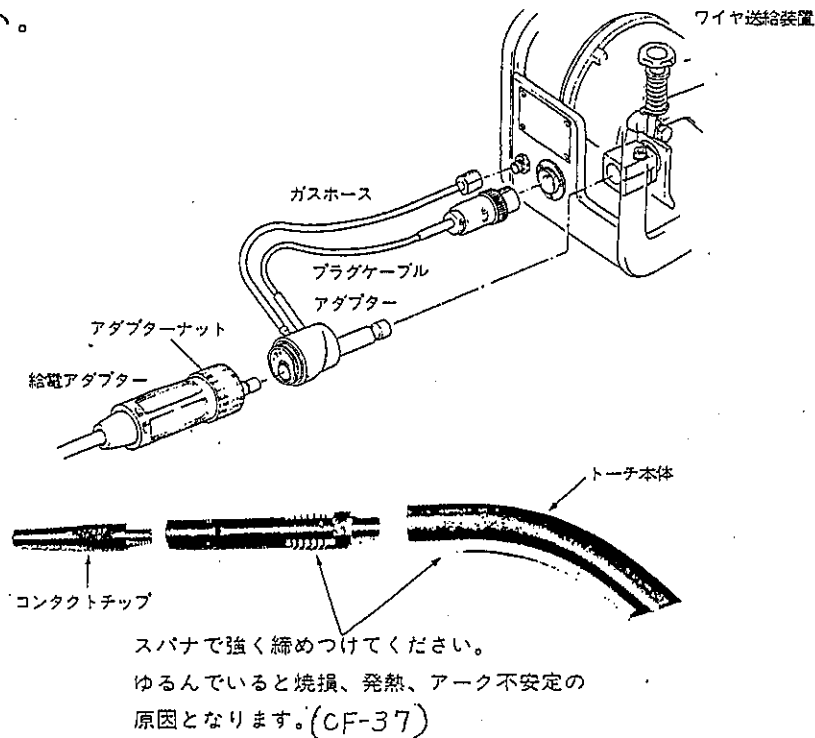
3) ワイヤ送給装置への接続

CF-37はアダプターをワイヤ送給装置に取り付けることにより、
 トーチの脱着が簡単に行えるワンタッチ・アダプター方式です。アダプ
 ターはワイヤ送給装置メーカー別に用意しております。

アダプター名称	形 状	接続可能なワイヤ送給装置形式
Nアダプター	<p>φ20 φ25-2P 1/8-18UNF</p>	松下電器 すべての空冷用ワイヤ送給装置
Dアダプター	<p>パワーケーブルアダプター ガイドアダプター アウトレットガイド φ25-2P 1/8-18UNF</p>	大阪変圧器 CM-231 CM-142 CM-91 CM-162 CM-101 CM-172 CM-112 CM-111
Dジェミー160用アダプター	パワーケーブルアダプター交換	CM-232, CM-233
Hアダプター	<p>φ20 キャノンプラグ 14S-7P M12×1.75</p>	日立製作所 すべての空冷用ワイヤ送給装置
Mアダプター	<p>φ16 φ25-6P PS 1/4</p>	三菱電機 WF-Hシリーズ WF-Kシリーズ
Mcアダプター(クリーンマグ クリーンオート用)	<p>φ25-2P</p>	WF-Lシリーズ(空冷用) WF-Mシリーズ
Tアダプター	<p>φ20 キャノンプラグ 14S-9S PS 1/4</p>	東亜精機 すべての空冷用ワイヤ送給装置
Bアダプター	<p>φ17.5 φ21-2P 1/8-18UNF</p>	大阪電気 すべての空冷用ワイヤ送給装置

4) 溶接準備の手順

1. 接続するワイヤ送給装置に取り付け可能なアダプターであることを確認して下さい。
2. アダプター、ガスホース、プラグケーブルをワイヤ送給装置の所定の位置に接続して下さい。
3. 溶接用ワイヤ径に適したコンタクトチップを使用しているか確認して下さい。出荷時には特別な指定がない限り、コンタクトチップは1. 2用をセットしてあります。
4. コンタクトチップ、チップボディが確実に締め付けられているか確認して下さい。
5. 絶縁筒、オリフィス、ノズルを取り付ける。
6. トーチ側給電アダプターの給電金具、シールドガス金具を送給装置側アダプターの穴に合わせて差し込み、アダプターナットを締め付けて固定して下さい。

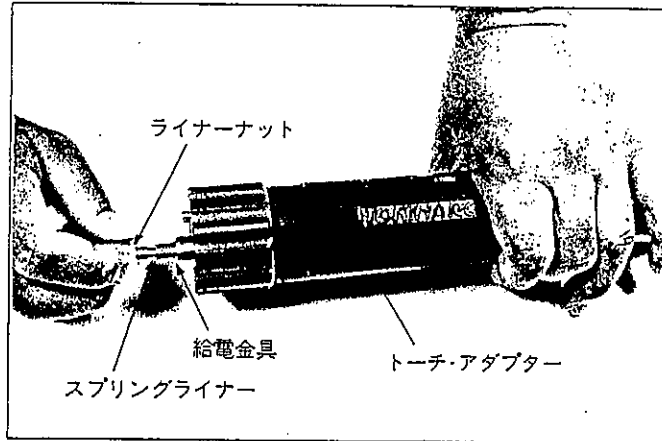


7. “インテング” スイッチを押し、ワイヤをトーチ先端まで送りコンタクトチップから10 [mm] ほど出したところで止めます。

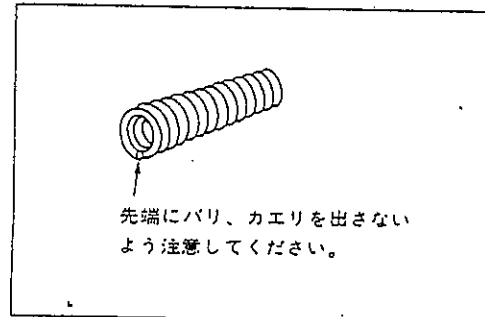
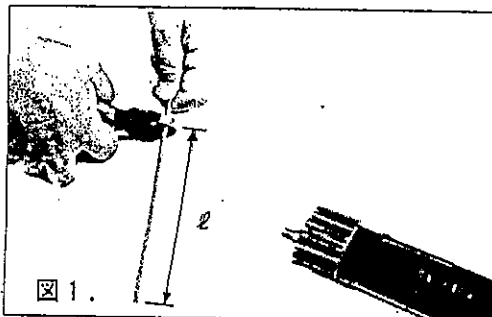
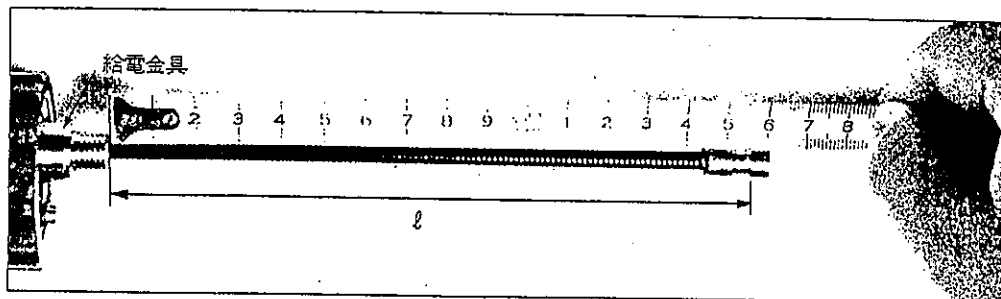
5) スプリングライナーの交換

スプリングライナー内面が摩耗し、ワイヤの切り粉、さび、ほこりなどでワイヤの送給が不安定になったら次の手順にてスプリングライナーを交換して下さい。

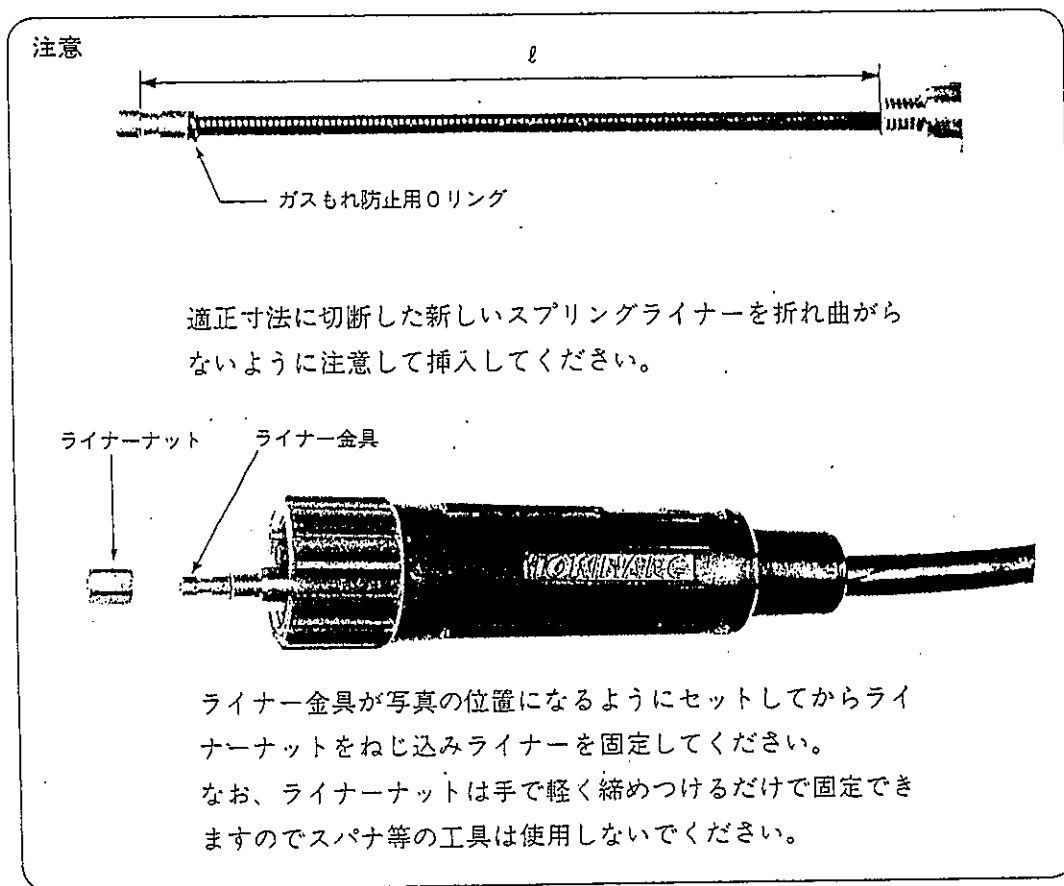
1. コンポジットケーブルをまっすぐにのぼして下さい。
2. ライナーナット（ネジ式）を取り外してから、トーチ・アダプターを左右どちらかに回転させると、ライナー金具が出てきますのでスプリングライナーが引き抜きやすくなります。



3. 新しいスプリングライナーを挿入し、給電金具より突出している長さを測り図1のように l の長さを切断して下さい。バリ、カエリなどがありましたらヤスリで取り除いて下さい。



4. 新しいスプリングライナーを折れ曲がらないように挿入して下さい。
ライナー金具の前面にあるOリングでガスの漏れを防止していますので
ライナー寸法（測定位置）は間違えないようにして下さい。



	適用ワイヤ径		コード番号
CF-37用 スプリングライナー	3 m	0.6用	037 001
〃	3 m	0.8・0.9用	037 002
〃	3 m	1.0~1.2用	037 003
〃	4 m	1.2用	037 004
〃	5 m	1.2用	037 005
〃	6 m	1.2用	037 006

6) 吸引パイプの交換

吸引パイプ内面にヒュームやスパッタなどが多量に付着した場合、または外部からの衝撃によって変形してしまった場合には、次のような手順で吸引パイプを交換して下さい。

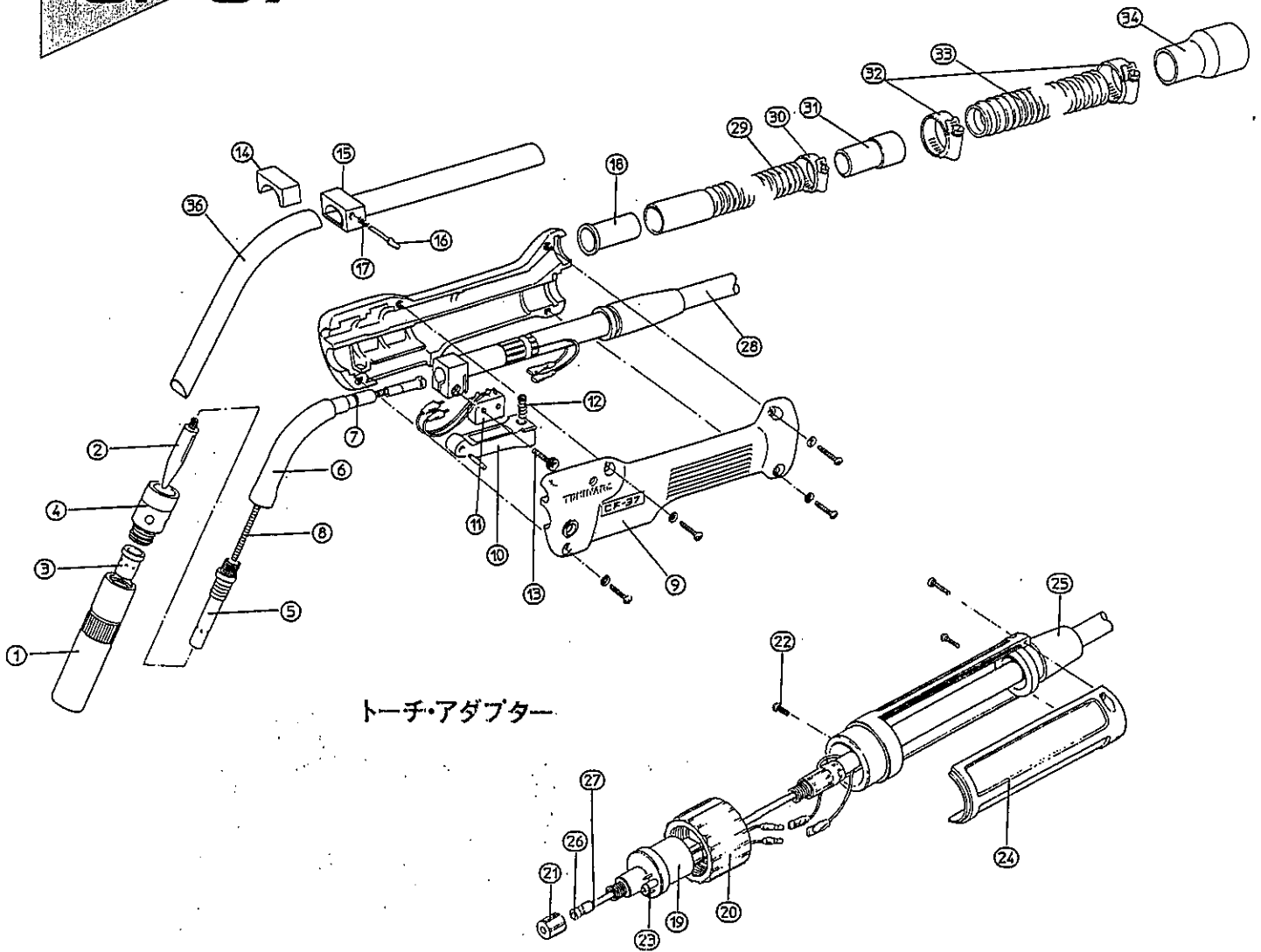
1. グリップのT O K I N A R Cの文字の上にある固定ピンをいっぱいまで押し込んで下さい。
2. 上記の状態吸引パイプを前方向にまっすぐ引き抜いて下さい。
この時、吸引パイプに前方向以外の力が加わると引き抜くことが困難になりますので注意して下さい。
3. 固定ピンをいっぱいまで押し込んで新しい吸引パイプを差し込んで下さい。この場合、吸引パイプをまっすぐに挿入しないと、グリップ内部の吸引パイプ固定ブロックに納まらないのでご注意願います。
4. 吸引パイプが奥いっぱいまで入っているか、また引っ張っても抜けてこない（固定ピンによって固定されている）かどうかをもう一度確認して下さい。吸引パイプと固定ブロック内部に隙間が生じると、その部分にヒュームがたまったり、そこから外気を吸ってしまい、吸引パイプ先端部の捕集能力が低下する場合があります。

7) トーチ本体の交換

1. グリップのTOKINARCの文字の上にある固定ピンをいっぱいまで押し込んで下さい。
2. 吸引パイプを前方向にまっすぐ引抜いて下さい。
3. 付属の六角レンチで締付ボルトを緩めトーチ本体を引抜いて下さい。
4. 新しいトーチ本体を取り付ける時はインナーチューブ、及びOリングがセットされているかを確認して下さい。
5. トーチ本体を奥いっぱいまで差し込んでから締付ボルトで固定して下さい。締付が不十分ですと発熱の原因となります。Oリングのひび割れ、切れが生じた場合には、ガス漏れの原因となりますので交換して下さい。
6. 固定ピンをいっぱいまで押し込んで吸引パイプを差し込んで下さい。

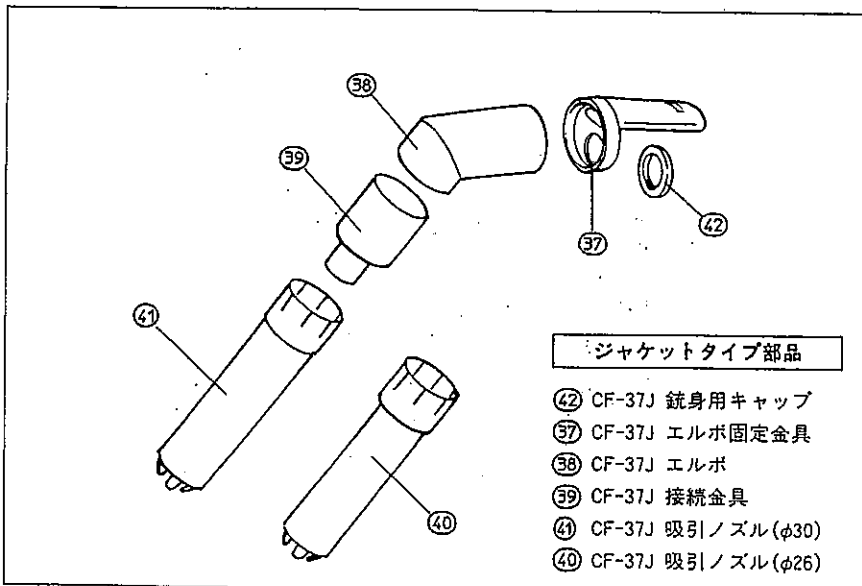
* 吸引パイプとトーチ本体の位置が大きくずれていると、ヒューム捕集能力が低下する可能性がありますので、トーチ本体はなるべく吸引パイプの位置に合わせてまっすぐにセットして下さい。

CF-37



トーチアダプター

CF-37J

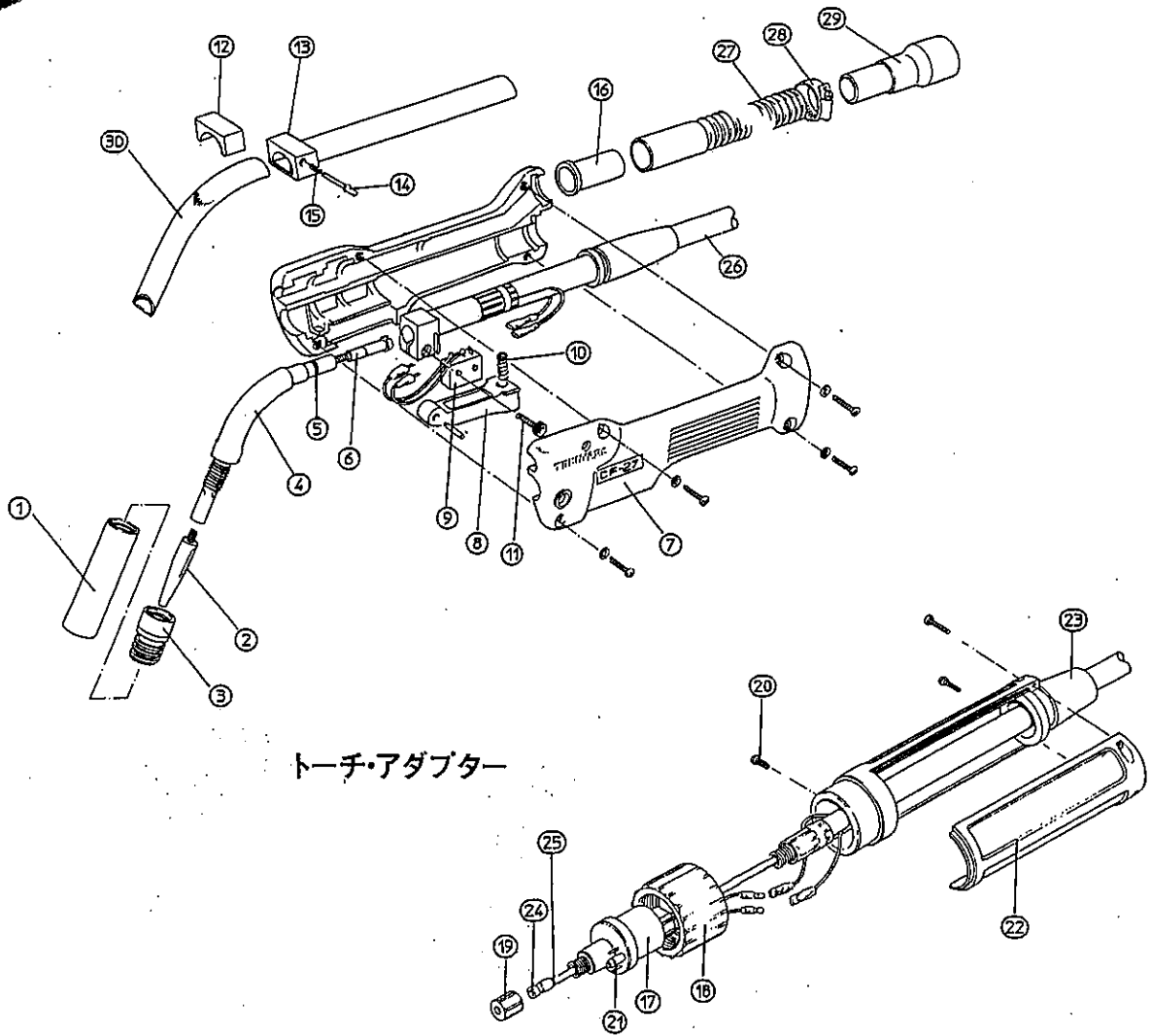


ジャケットタイプ部品

- ④② CF-37J 銃身用キャップ
- ③⑦ CF-37J エルボ固定金具
- ③⑧ CF-37J エルボ
- ③⑨ CF-37J 接続金具
- ④① CF-37J 吸引ノズル(φ30)
- ④① CF-37J 吸引ノズル(φ26)

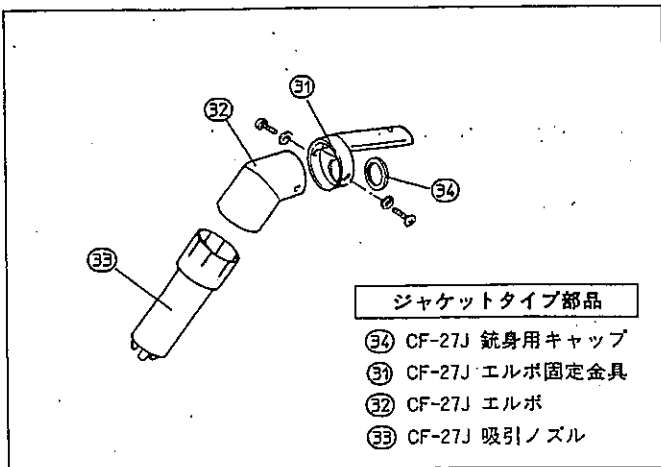
CF-37 部品表

No	コード番号		部 品 名	
1	001	002	ノズル	N-16φ
2	002	001	チップ	0.9φ
	002	002	"	1.0φ
	002	003	"	1.2φ
3	003	002	オリフィス	N-S
4	004	002	インシュレータ	N-S
5	036	001	チップボデイ	A
6	020	305	トーチボデイ	NEWα-350
7	038	055	リング	
8	020	210	インナーチューブ	NEWα-350
9	045	310	CF-27/CF-37	ハンドル
10	045	311	CF-27/CF-37	スイッチレバー
11	045	312	CF-27/CF-37	マイクロスイッチ
12	032	016	スイッチバネ	
13	020	123	締め付けボルト	
14	045	321	固定ゴム	
15	045	322	固定ブロック	
16	045	323	固定ピン	
17	045	324	固定バネ	
18	045	330	CF-27/CF-37	ダクト接続パイプ
19	020	001	給電アダプター	
20	020	002	アダプターナット	
21	020	003	ライナナット	
22	020	004	固定ネジ	
23	020	005	アダプターリング	
24	020	006	アダプターカバー	
25	020	007	ケーブルサポーター	
26	037	002	ライナ	0.8, 0.9φ 3m
	037	003	"	1.0, 1.2φ 3m
	037	004	"	1.2φ 4m
	037	005	"	1.2φ 5m
	037	006	"	1.2φ 6m
27	036	035	ライナ用リング	
28	045	340	CF-27/CF-37	パワーケーブル 3m
	045	341	"	4m
	045	342	"	5m
	045	343	"	6m
29	045	361	φ19×1.5m	シリコンダクト
30	045	334	φ22	ホースバンド
31	045	335	接続パイプ	φ19-φ25
32	045	337	φ35	ホースバンド
33	045	362	φ25	透明ダクト 1.5m
	045	363	"	2.5m
	045	364	"	3.5m
	045	365	"	4.5m
34	045	336	接続パイプ	φ25-φ38
35	045	370	CF-37	トーチカバー
36	045	320	CF-37	吸引パイプ
37	045	353	CF-37J	エルボ固定金具
38	045	352	CF-37J	エルボ
39	045	354	CF-37J	接続金具
40	045	351	CF-37J	吸引ノズル (φ26)
41	045	350	"	(φ30)
42	045	505	CF-37J	銃身用キャップ



トーチアダプター

CF-27J



ジャケットタイプ部品

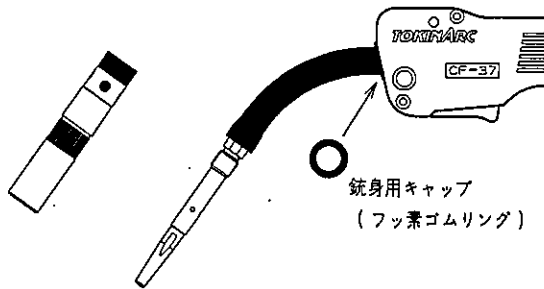
- ③④ CF-27J 銃身用キャップ
- ③① CF-27J エルボ固定金具
- ③② CF-27J エルボ
- ③③ CF-27J 吸引ノズル

CF-27 部品表

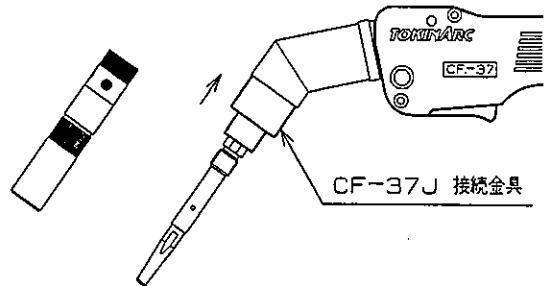
No	コード番号		部 品 名		
1	038	051	ノズル	α-180用	15φ
2	002	005	チップ	0.8φ	
	002	001	"	0.9φ	
	002	002	"	1.0φ	
	002	003	"	1.2φ	
3	038	052	インシュレータ	α-180用	
4	038	054	トーチボディ	α-180	
5	038	055	リング		
6	038	053	インナーチューブ	α-180	
7	045	310	CF-27/CF-37		ハンドル
8	045	311	CF-27/CF-37		スイッチレバー
9	045	312	CF-27/CF-37		マイクロスイッチ
10	032	016	スイッチバネ		
11	020	123	締め付けボルト		
12	045	321	固定ゴム		
13	045	322	固定ブロック		
14	045	323	固定ピン		
15	045	324	固定バネ		
16	045	330	CF-27/CF-37		ダクト接続パイプ
17	020	001	給電アダプター		
18	020	002	アダプターナット		
19	020	003	ライナナット		
20	020	004	固定ネジ		
21	020	005	アダプターリング		
22	020	006	アダプターカバー		
23	020	007	ケーブルサポート		
24	037	002	ライナ	0.8, 0.9φ	3m
	037	003	"	1.0, 1.2φ	3m
	037	004	"	1.2φ	4m
	037	005	"	1.2φ	5m
	037	006	"	1.2φ	6m
25	036	035	ライナ用リング		
26	045	340	CF-27/CF-37		パワーケーブル 3m
	045	341	"		4m
	045	342	"		5m
	045	343	"		6m
27	045	231	φ19	透明ダクト	3m
	045	232	"	"	4m
	045	233	"	"	5m
	045	234	"	"	6m
28	045	332	φ25	ホースバンド	
29	045	333	接続パイプ	φ19-φ38	
30	045	220	CF-27	吸引パイプ	
31	045	253	CF-27J	エルボ	固定金具
32	045	252	CF-27J	エルボ	
33	045	250	CF-27J	吸引ノズル	(φ26)
34	045	255	CF-27J	銃身用キャップ	

CF-37J 吸引ユニット取り付け方法

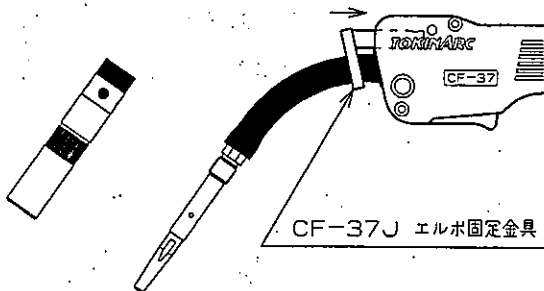
- ① ノズル、絶縁筒をはずして、トーチ本体に銃身用キャップをはめる。
(グリップに当たる位置まで)



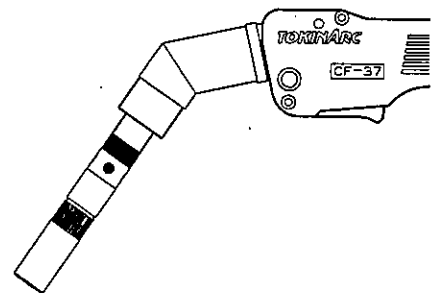
- ④ トーチ本体に接続金具をセットする。
(後端をエルポにはめ込み、前端がトーチ本体の絶縁チューブと面一になる位置まで入れる。)



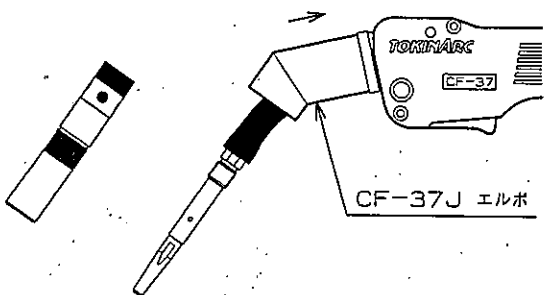
- ② エルポ固定金具をセットする。
(ボタンがロックするまで入れる。)



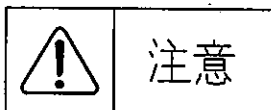
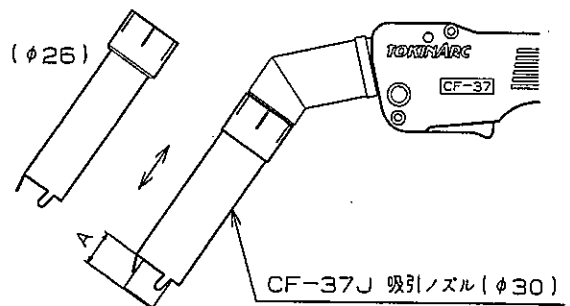
- ⑤ ノズル、絶縁筒を取り付けて、接続金具を固定する。



- ③ 方向を合わせて、エルポをセットする。



- ⑥ 吸引ノズルをセットして、ノズル先端からの距離Aを調整する。
※ 吸引ノズルを前に出しすぎると、ブローホールが発生する恐れがあります。

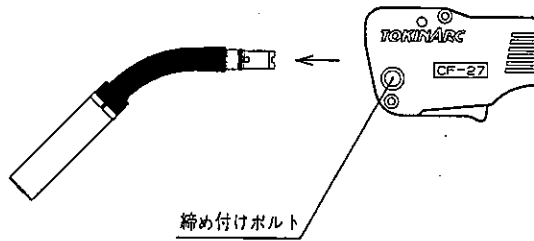


トーチ本体基部とグリップ取り付け穴との隙間に、スパッタが堆積すると、グリップ内部の電極と吸引ユニットが短絡して、吸引ユニット部に電流が流れて危険ですので、定期的に点検、清掃を行って下さい。

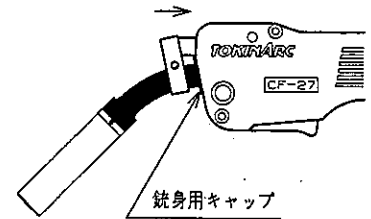
※ また、スパッタの堆積と短絡の防止のために、銃身用キャップを必ず装着して下さい。

CF-27J 吸引ユニット取り付け方法

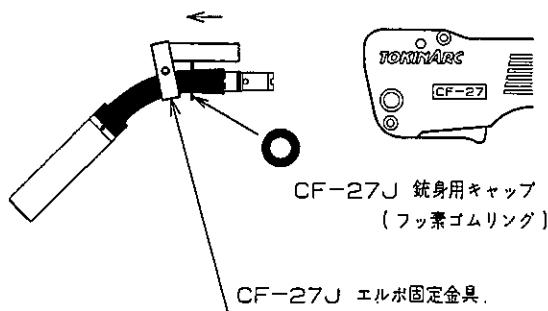
- ① 締め付けボルトを緩めて、トーチ本体をはずす。



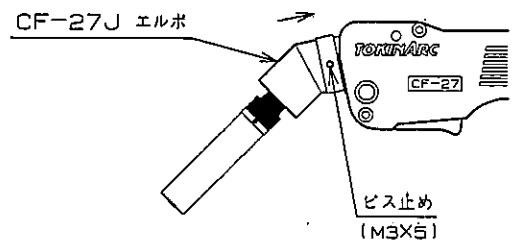
- ④ 銃身用キャップをグリップに押し付けて、エルボ固定金具をボタンがロックするまで押し込む。



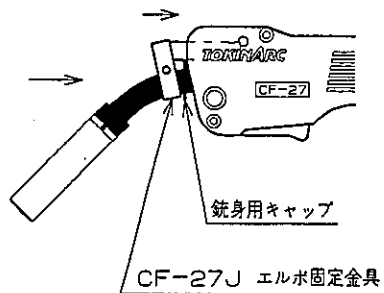
- ② トーチ本体に、エルボ固定金具と銃身用キャップをはめる。



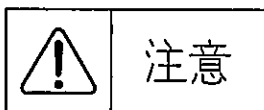
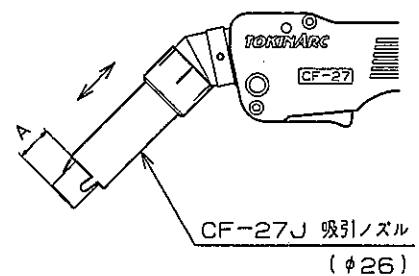
- ⑤ エルボをセットして、左右ビス止めする。



- ③ エルボ固定金具を図の位置ぐらいまでグリップに差し込みながら、トーチ本体をセットして確実に締め付ける。



- ⑥ 吸引ノズルをセットして、ノズル先端からの距離Aを調整する。
※ 吸引ノズルを前に出し過ぎると、ブローホールが発生する恐れがあります。



トーチ本体基部とグリップ取り付け穴との隙間に、スパッタが堆積すると、グリップ内部の電極と吸引ユニットが短絡して、吸引ユニット部に電流が流れて危険ですので、定期的に点検、清掃を行って下さい。

※ また、スパッタの堆積と短絡の防止のために、銃身用キャップを必ず装着して下さい。

株式会社 トーキョー

〒432-8006 浜松市西区大久保町 1509 (浜松技術工業団地内)

TEL : 053-485-5555

FAX : 053-485-5505

<http://www.tokinarc.co.jp>

- ・改良の為、仕様、寸法等、予告無く変更することがあります。
- ・オイルを含む溶接ヒュームについては、目詰まり、火災等の原因となりますので、事前に弊社にご相談下さい。
- ・アルミニウム、チタン、マグネシウム等の爆発可燃性の金属には使用しないで下さい。
- ・目詰まり防止の為、使用頻度に併せたヒュームコレクターの定期点検を必ず実施して下さい。